



校長室だより

校長 菅原 定志

地域の中の「学校」

先日6月6日（日）に、「鹿折地区青少年育成協議会」の呼びかけで、地域の有志の皆さんによる『草刈り部隊』が結成され、フェンス沿いの桜の枝打ちや校地内の草刈りを行っていただきました。このニュースは、9日（水）の三陸新報にも取り上げられています。

「鹿折地区青少年育成協議会」は、震災前に「鹿折地区青少年健全育成協議会」という名称で、鹿折中学校が主体となって活動していましたが、震災後はその活動が休止されていた組織です。そのような中、昨年度『子ども見守り隊』が組織されるなど、鹿折地区の児童生徒の安全確保と健やかな育成を地域全体で支えていこうとする動きが活発化してきました。そこで、中学校が事務局の「鹿折地区青少年健全育成協議会」を学校だけで組織・運営していくの



ではなく、鹿折地区振興協議会の一つに組み込んでいただき、地域の組織として活動していきたいとお願いし、鹿折地区振興協議会の総会で承認をいただき、名称を「鹿折地区青少年育成協議会」に変え、会長も地域住民の菅原雄治さんをお願いし、今年度から新たに活動を開始しました。その活動の第1弾が地域の有志の皆さんによる『草刈り部隊』の活動でした。当日、私も参加することになっていたのですが、親戚に不幸があり、参加できませんでした。7日（月）に出勤した際に、フェンス沿いや土手の草刈りがなされ、大きなタイヤで校庭を整地していただいたことがわかり、感謝の気持ちでいっぱいとなりました。

学校の教育活動を学校主体で行っていくことは当然です。しかし、学校だけではできない活動については、積極的に保護者や地域の皆様のお力をお借りすることも重要であると考えます。学校という小さな枠の中だけで生活していると、学校だけで何とかしようとする考えに陥りがちになります。せっかくある地域の豊かな教育財産を活用しないのはもったいないと思います。昨年度からリニューアルして行っている防災学習も保護者や地域の皆様のご協力があつてできています。13日（日）の午前中に本校体育館で行われる避難所初期設営訓練も、鹿折地区振興協議会と鹿折地区まちづくり協議会の活動に中学校も参加する、そして中学生ができることを協力していくというスタンスで行います。

本校が、地域の皆さんから「おらほの学校」「地域の中の学校」と言われるように頑張りたいと思います。

【ご連絡】 以前、学校からお知らせしておりましたとおり、6月13日（日）に授業参観と学年懇談会を行います。授業参観は5時間目（13：30～）となります。午前に行われる（10：30～）避難所初期設営訓練の様子もご覧いただけます。当日は、お弁当となります。